



HP

E-mail

八王子支部ニュース

<https://tokyoso-hachioji.com/>

E-mail : hachioji-tu@nifty.com

Tel : 042(623)1141

助け合いこそ組合活動

都教組八王子支部執行委員長 佐々木清明

私の職場の入学式のことでした。密を避けるため、在校生は生徒会長一人が代表として出席しました。彼は「歓迎の言葉」の練習で、内容はとても素晴らしいのですが、なかなか自信を持って力強く言えませんでした。最初自信がなかったのは無理ありません。学校行事が減ってしまい、場数が踏めなかったという理由でしょう。担当の教員が親身に寄り添い、お手本を示したり、励ましたりして何度も練習しました。そして、本番では力強く立派に言うことができました。昨年度、私たち教員も、コロナ禍で手探りの一年間でした。そして、事態が改善されないうまま四月の新学期を迎えてしまった感があります。

校外学習などの行事を実施した学校では、感染予防に細心の配慮でありました。実施しなかった学校は、感染対策だけでなく、生徒の参加できる人数などを見極め、これも配慮を重ねた上での苦渋の決断でした。このような状況が今年もまた続くのかと思うと、不安が重くなります。それでも、目の前の子どもたちのために、前へ進まなければいけないのが学校です。実施した以上「やってよかった」ことを見出すのが教育実践です。

私も含め、自信をもって「さあ、新しいスタートだ!」とは言いがたいスタートだったのではないのでしょうか。加えて、新学習指導要領が昨年の小学校に続き、今年は中学校でも

全面実施されます。進路に直結する評価の問題もあります。また、タブレット配布に伴う様々な模索も待ったなしです。「優先順位が考えられない」「保護者会の説明、どこまでするのか」等々、年度初めの疲れは例年以上でしょう。だからこそ、組合が大切になってきていると思います。

従来は組合活動と言えば集会で旗を掲げ、世の不条理に抗議し、要求実現のために当局と交渉することが活動の中心でした。ところが近年は活動スタイルが従来とは変わってきています。支部の事務所にも、ハラスメントをはじめ働き方など職場の悩みについての相談電話が、年々増える傾向にあります。困っている仲間ときめ細かく話し合い、解決のために一緒に考えることが、今まで以上に組合の大きな役割になってきています。職場に組合員がいる場合、「ああ、その方なら信頼できる」となって、解決につながることも少なくありません。私たち組合員が自分も様々な悩みを抱えながら、それでも助け合い、共に考え頑張ろうという気持ちを持ち続けていることが、今、職場の救いになっているのではないのでしょうか。つながり、支えあい、助け合うのが組合活動の基本なのです。

本来、職場の同僚とは助け合うものです。しかし、競争・自己責任、場合によっては「指導力不足」というレッテル貼りや排除まで起

こりかねない職場もあるようです。私たち組合員は「助け合うのが当りの前」という働き方・生き方を体現している大切な存在です。そういう人を一人でも多く増やしましょう。「意識して助け合う人になろう」「自分を守るためにも、まず自分が仲間を守る人になろう」「組合に入ろう」という呼びかけには、そんな意味が込められていると思います。今年度も、知恵と力を出し合い、共に頑張りをしましょう。

ギガスクール構想に関連し市教委へ要請

要請文は支部ホームページに掲載しますが、特に、以下の二点について回答を得ました。

- ①タブレットを使うことが目的ではなく、教育活動の幅が広がるのが目的である。
- ②タブレットの破損・紛失等については、故意の悪質なケースでない限り、修理・代替機の貸し出しなど市で対応する。以上、参考にしてください。